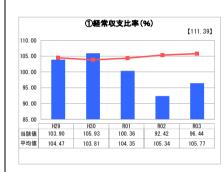
経営比較分析表(令和3年度決算)

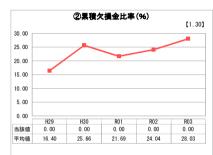
奈良県 明日香村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	その他
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
_	71 /11	98 17	3 940	

人口 (人)	面積(km²)	人口密度(人/km²)
5, 381	24. 10	223. 28
現在給水人口(人)	給水区域面積(km²)	給水人口密度(人/km²)
5. 248	11. 75	446, 64

1. 経営の健全性・効率性

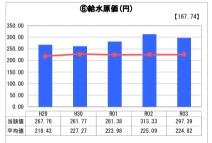


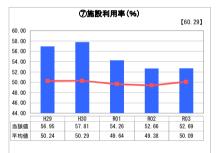


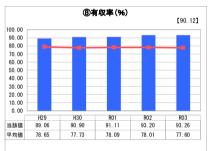




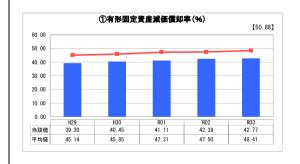


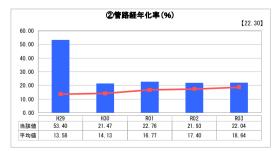


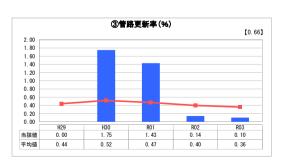




2. 老朽化の状況







グラフ凡例

■ 当該団体値(当該値)

類似団体平均値(平均値)

【】 令和3年度全国平均

分析欄

経営の健全性・効率性について

●経常収支比率

令和元年度までは安定的に100%を超えていた

が、コロナ対策による収益の減少等により平均値を 下回っている。昨年度よりは改善傾向にあるが引き 続き費用削減等を行っていく必要がある。

■ 思請欠指全

累積欠損金は発生していない。

●流動比率

各年度100%以上の数値を確保しており、平均値 を上回っている。

●企業債残高対給水収益比率

類似団体平均値以下の数値で推移しているが、今 後の事業に際しては投資規模の平準化を行い計画的 な事業実施を行っていく必要がある。

●料金回収率

経常収支比率の費用増加を前年度より抑えたこと こより平均値を上回っている。

●給水原価

今年度は経常収支比率の費用増加を前年度より抑 えたことにより減少している。

●施設利田家

人口の減少により低い数値ではあるが、平均値を 上回っており、数値向上に努める。

●有収率

老朽管の増加に伴い減少傾向にあったが、老朽管 の更新を計画的に行った結果、平成30年度より上昇 し、今年度はほぼ横ばいである。

2. 老朽化の状況について

昭和50年に建設した創設時の配水管路が、平成26 年度より耐用年数を迎えたことにより、管路経年化 率が平成29年度は大幅に上昇したが、平成28年度に 管路更新計画を策定し、計画的な老朽管対策を実施 した結果、平成30年度には管路経年化率が大幅に改 善し、今年度においては、前年度比でほぼ横ばいで

全体総括

現在の経営状況としては安定しているが、今後、 人口動態等による大幅な収入の改善が見込めないな か、老朽管対策や耐震化対策といった事業を行わな ければならない。平成28年度に実施したアセットマ ネジメントの結果に応じ、経営状況の把握を行った うえで、経営状況の悪化を招かないよう長期的な管 路更新計画に従い、必要な事業を実施し、安定した 水道経営に努める。